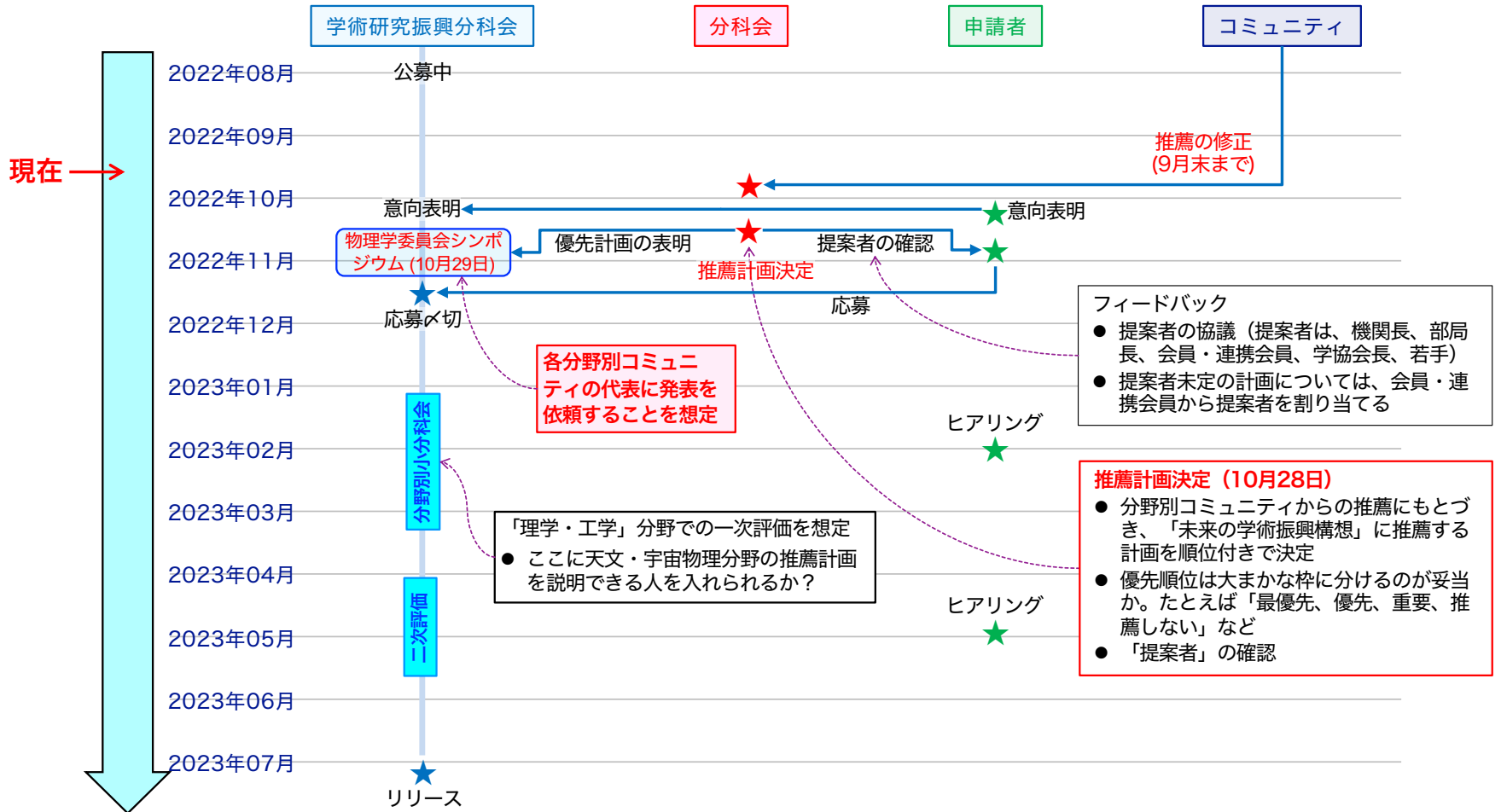


# 「未来の学術振興構想」策定に向けた流れ (案)



# 想定事項

- 昨年度マスタープランに意思表示した**すべての計画**（大型、中型A、中型B）が「**未来の学術振興構想**」に**応募**することを想定（実際に応募するか否かは申請者の判断）
- 10月28日の分科会では、昨年提出された**各分野別コミュニティからの推薦書**と、それに対する**追加・修正**（9月末〆切）にもとづき、優先順位つきで推薦計画を策定することになる
- すべての計画を細かく順位付けするのではなく、**たぶん大まかな枠**（たとえば「**最優先、優先、重要、推薦しない**」など）に**分類**する程度になるのでは？
- 推薦計画については、10月29日の物理学委員会シンポジウムで表明する。**各分野別コミュニティの代表者には、優先計画とその理由**（経緯など）の発表をお願いしたい
- 理工学分野の分野別小分科会には、物理学委員会と**天文・宇宙分科会**から、**誰かが委員として入る**ことを想定している
- それによって**分科会の優先順位**（すなわち**コミュニティの意向**）を担保したい